

目標③ 話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめることができる。

鈴木さんは、来年行われる職場体験学習に先立ち、学校の近くの病院で働く看護師長の佐藤さんを訪ね、インタビューすることになりました。

次の文章は、鈴木さんが看護師長の佐藤さんにインタビューを行ったときの様子です。よく読んで、あとの問いに答えなさい。

鈴木 看護師さんのお仕事というと、お医者さんの診察のお手伝いをするというイメージがあるのですが、他にどのようなお仕事がありますか。①

佐藤 そうですね。診察室などで外来の患者さんから見える仕事のほかにも、病棟業務として、入院している患者さんのベッドを回って、検温、血圧・脈拍の測定、点滴、シーツ交換などをしますよ。

鈴木 A

佐藤 点滴などはもちろんできませんが、シーツ交換や体位変換（たいいへんかん）などは看護師と一緒にやってみてはどうでしょう。②

鈴木 体位変換とは、どのようなお仕事のですか。

佐藤 患者さんは、長時間同じ姿勢で寝ていると、体の一部分が圧迫されて血の流れが悪くなり、皮膚をいためる「床ずれ」という症状になってしまいます。そこで、床ずれ防止のために、体位変換といって、患者さんの体の向きや姿勢を変えることを二〜三時間に一回行っています。患者さんに声をかけながら、無理のないように行うのがコツです。

鈴木 B

佐藤 寝たきりの患者さんには、おむつ交換のほか、清拭（せいしき）といって、蒸しタオルやぬれたタオルで体をふいてあげます。職場体験学習では、患者さんの足の清拭を体験してみてください。

鈴木 病棟での業務の他に、看護師さんのお仕事としてはどのようなものがありますか。③

佐藤 うちの病院では、訪問看護という仕事をしています。これは、病気や障害がありながら自宅で療養する人が安心して快適によりよい生活を続けられるように、専門的な医療サポートをする仕事です。

鈴木 C

佐藤 うちの病院には、自宅で療養する患者さんが約四十名いて、この患者さんたちを二人の看護師が担当して、定期的に訪問しています。

鈴木 D

佐藤 そうですね。何か興味のあることや質問があれば、事前に知らせてほしいですね。たとえば「薬はどのように調合されるのか」などの質問があれば、こちらでもできる限り答えますから。

鈴木 わかりました。もう一度、看護師さんのお仕事を調べてみて質問などを整理してから職場体験学習に臨みたいと思います。今日は、ありがとうございました。④

(1) 鈴木さんの質問等の言葉として空欄A～Dにあてはまる最も適当な言葉を、次のア～エの中からそれぞれ一つずつ選び、その記号を書きなさい。

ア それは大変そうですね。何人くらいの患者さんがいるのですか。

イ なんだか早く職場体験をさせていたただきたくなってきました。実際に体験させていたただく前に、私たちが何か準備しておくということはありませんか。

ウ もし、職場体験させていただくとしたら、そのようなお仕事をさせていただくことはできますか。

エ 難しそうですね。ところで、そのような寝たきりの患者さんたちのお風呂はどうしているのですか。

A

B

C

D

(2) 鈴木さんのインタビューの中で、佐藤さんとのやり取りを考えると、受け答えとして適切でないものを文章中の①～④の中から一つ選び、その番号を書きなさい。また、その理由を一文で書きなさい。

番号

理由

(1) 《解答》

A…ウ B…エ C…ア D…イ

(2) 《解答(例)》

符号

③

理由

佐藤さんの提案に答えていないため。(同趣旨は正解とする。)

《評価のポイント》

- 相手の話の内容を受け止めた答え方をしていないことを理由に挙げている。
- × 無解答、または不適切な理由を記述している。